

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
関根 聡美	D313	s.arakawa	火曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	義肢装具の構造と機能の概要を理解し、疾患の特徴と運動機能を考慮して装具の適用を決めるかを修得することを目標とする。遠隔授業においては、義肢・装具について課題学習等を通して理解し、その後のフィードバックとグループワーク等の意見交換を行い、どのように装具の適用を決めるか理解を深める。				
学習上の助言	授業内容について理解できない場合は、積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	PT・OT ビジュアルテキスト義肢・装具学 第1版/監修 高田治実、編集 豊田輝、石垣栄司/羊土社				
参考書	義肢装具学第4版/編：川村次郎、陳隆明、古川宏、林義孝/医学書院				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	装具の写真や実物を見て、名称と構造・機能の特性を説明できる。			PT(1)、(3)	
②	疾患における装具の適用を修得する。			PT(3)、(6)	
③	装具適合のポイントを指摘して必要な修正方法を答えられる。			PT(2)、(3)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	装具の目的・分類・3点固定の原理を学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 244~251 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
2	下肢装具の構成部品とそのチェックアウトについて学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 253~265 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
3	足継手の制御機構について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 267~273 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
4	疾患別の装具療法①：脳卒中片麻痺の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 275~281 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
5	疾患別の装具療法②：対麻痺の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 283~293 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
6	疾患別の装具療法③：整形外科的装具について学習する。	同時双方向型授業	教科書 P. 295~300 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
7	疾患別の装具療法④：頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 302~311 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
8	疾患別の装具療法⑤：末梢神経障害の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 311~326 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
9	疾患別の装具療法⑥：脊柱側弯症の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 328~334 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
10	疾患別の装具療法⑦：小児疾患の装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 336~344 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
11	疾患別の装具療法⑧：関節リウマチの装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 346~351 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
12	靴型装具について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 353~357 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
13	車椅子・杖について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 359~365 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
14	義肢・装具の給付制度について学習する	同時双方向型授業	教科書 P. 367~375 を読み課題指定の設問に回答し提出する		
15	義肢装具学のポイントを復習する	同時双方向型授業	これまでの課題を総復習する		
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施し評価する（100%）。試験は教科書を基に出題する。				答案を返却する際に適時解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎関根 聡美</p> <p><b>教員の実務経験</b>：医療機関にて実務経験あり</p> <p><b>実践的授業の内容</b>：理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。</p> <p>同時双方向型授業では Teams を使い、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性がある。</p>							